

おばなざわ 市議会だより

Obanazawa City Council NEWS

121号

令和6年5月1日 発行

学ぼう
地域をフィールドにして



3月定例会

3月定例会	2
賛否討論	5
総括質疑	6
分科会	8
一般質問	9
広域組合議会	15
特集	16

北村山高校 学校紹介



花笠踊りパレードに参加



踊り屋台曳き



新入生を歓迎



クラスマッチ開会式

北村山高校の特色は、地域との連携です。令和5年度から「コミュニティスクール」として、学校運営協議会を立ち上げ、これまでの尾花沢市・大石田町との連携をより密にして生徒が「地域をフィールドにして学ぶ」学校づくりを目指しています。

令和5年度は、コロナ禍で制限されてきた学校行事や、地域活動に取り組んだ1年です。4年ぶりの「尾花沢花笠まつり」への参加では、「踊り屋台曳き」や「清掃活動ボランティア」「花笠おどりパレード」で、祭りを盛り上げました。学園祭では地域の一般の方に多くご来場いただき、生徒の活動の様子をご覧いただきました。

今後も、地域での学びを活かし、地域社会の活力ある発展に貢献し、生き生きと活動する青年の育成に向け取り組んでいます。地域の皆さんの励ましの声をいただければ幸いです。

地域考究学習を実施

探究型学習として、2年次に「考究基礎」、3年次に「考究実践」を行っています。考究基礎で、地域の課題解決のためのテーマを設定し、3年次の考究実践の学習で、1年間かけて学習を行い、課題解決のための実践を行っています。尾花沢市や各企業、団体などの指導者の方から指導・助言をいただき、中間発表を経て、最終プレゼンテーションで発表します。

取り組んだテーマとして、「徳良湖の魅力をPRするには」、「特産品のそばの良さを知ってもらう」、「スポーツの力で地域を元気にする」、「地域の自然環境について」などがあります。

発表会では、「そばガールズ」の取り組みも含め、一年間の成果をお伝えしました。



発表会の様子



AI甲子園で受賞した情報処理部

AI甲子園で
審査員奨励賞
を受賞

3月20日に山形市で行われた第4回 AI甲子園in山形にて審査員奨励賞を受賞しました。情報処理部は、尾花沢市の課題である降雪対策に着目し、AIを用いた降雪量の予測というテーマに取り組みました。会場でのプレゼンテーションが審査員に評価され、奨励賞を受賞しました。このテーマの探究にあたっては、尾花沢市商工観光課の職員に継続的な指導・助言をいただき、研究をまとめることができました。

今後も、広く市民の皆さんに活動の様子を広報していきたいと思ひます。地域課題の解決に向けた探究活動を引き続き行っていきたいと思ひます。

あ と が き

今冬は例年にない暖冬となりました。雪国としては拍子抜けしたような感じですが。

令和6年3月定例会が閉会し、新年度が動き出しました。23の新規事業を含め164の事業が動き出します。コロナ感染症が第5類に分類され、元気あるまちへの積極的予算となりました。議会だよりでは市民の皆様へ、どう議論されたのか、よりわかりやすくお知らせできるように工夫しながら編集に取り組んでいきます。今年度から「市民との意見交換会」も実施予定です。本年度初めての試みとなります。ぜひ皆様のご参加とご意見をお寄せいただき今後の議会活動に生かされればと思っております。〔高橋 隆雄〕

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長	発行責任者
高橋	菅藤	和田	鈴木	伊藤	畑中	土屋	菅野	
隆雄	昌己	哲	清	浩	和	範	修一	

過去最大

令和6年度 一般会計予算

賛成多数で可決!

一般会計予算143億7000万円 前年比12.8%増

令和6年度 予算一覧

一般会計	事業会計
歳入歳出総額 143億7,000万円	尾花沢市簡易水道事業会計
尾花沢市国民健康保険特別会計	収益的収入支出総額 2億2,533万円
歳入歳出総額 20億8,583万円	資本的収入支出総額 1億6,644万円
中央診療所施設勘定	尾花沢市農業集落排水事業会計
歳入歳出総額 3億8,826万円	収益的収入支出総額 7,799万円
尾花沢市介護保険特別会計	資本的収入支出総額 4,295万円
歳入歳出総額 19億8,014万円	
尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計	
歳入歳出総額 2億4,453万円	

公営企業会計に2会計移行

- ・簡易水道事業会計
- ・農業集落排水事業会計

公営企業会計は、現金の収入、支出のみを把握する一般会計とは異なり、民間の企業会計と同様に損益計算書や貸借対照表などの財務諸表を作成する複式簿記となる。

注目事業

01 保育料完全無償化事業

経済的負担を感じず安心して子育てできる環境を構築するため、当該区分の保育料を無償化する（延長保育については、これまでどおり徴収）



02 家計応援ごっつお券発行事業

市内各飲食店で使用できる「家計応援ごっつお券」を全世帯に発行し、支援を図る

03 带状疱疹予防接種費用助成事業

ワクチンの接種を希望する65歳以上の方に助成

04 大相撲開催事業

11年ぶり3回目の大相撲尾花沢場所を開催



05 新規就農者確保対策事業

就農希望者の開拓から就農までを体系的に支援する体制を整備し、新規就農者のステップアップの支援を行う（「尾花沢すいか農学校」の開校等）

令和5年度 補正予算一覧

一般会計補正予算

歳入歳出補正額 59,102万円
歳入歳出総額 1,528,086万円

尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算

歳入歳出補正額 ▲573万円
歳入歳出総額 210,213万円

尾花沢市簡易水道特別会計補正予算

歳入歳出補正額 ▲889万円
歳入歳出総額 28,603万円

尾花沢市農業集落排水事業特別会計補正予算

歳入歳出補正額 ▲120万円
歳入歳出総額 9,481万円

尾花沢市介護保険特別会計補正予算

歳入歳出補正額 8,759万円
歳入歳出総額 206,321万円

尾花沢市後期高齢者医療保険
特別会計補正予算

歳入歳出補正額 100万円
歳入歳出総額 23,757万円

定例会のあらまし
3月定例会は、2月29日から始まり3月21日までの22日間で開催され、令和6年度予算の審議については、一般会計予算案 賛成8・反対5の賛成多数で可決しました。また、令和5年度補正予算7件、条例の制定及び設定16件、委員の選任、推薦、任命の人事案件4件を可決しました。最後に、閉会中の各常任委員会および議会運営委員会において所管事務調査を継続していくことを確認しました。



令和6年3月定例会 議案一覧

議案番号	審議した議案等	審議結果	
議第1号	令和5年度尾花沢市一般会計補正予算(第9号)	可決 (全会一致)	
議第2号	令和5年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)		
議第3号	令和5年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第4号)		
議第4号	令和5年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)		
議第5号	令和5年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算(第3号)		
議第6号	令和5年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第3号)		
議第7号	令和6年度尾花沢市一般会計予算	可決 (賛成8・反対5)	
議第8号	令和6年度尾花沢市国民健康保険特別会計予算	可決 (全会一致)	
議第9号	令和6年度尾花沢市介護保険特別会計予算		
議第10号	令和6年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計予算		
議第11号	令和6年度尾花沢市簡易水道事業会計予算		
議第12号	令和6年度尾花沢市農業集落排水事業会計予算		
議第13号	尾花沢市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定		
議第14号	尾花沢市長期継続契約とする契約を定める条例の一部を改正する条例の制定		
議第15号	尾花沢市おもたか奨学金基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定		
議第16号	尾花沢市手数料条例の一部を改正する条例の制定		
議第17号	尾花沢市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定		
議第18号	尾花沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例の制定		
議第19号	尾花沢市医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定		
議第20号	尾花沢市徳良湖周辺施設等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定		
議第21号	尾花沢市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定		
議第22号	尾花沢市営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定		
議第23号	尾花沢市犯罪被害者等支援条例の設定		
議第24号	尾花沢市こどもまんなか社会推進協議会設置条例の設定		
議第25号	尾花沢市産業創出型シェアハウス設置条例を廃止する条例の設定		
議第26号	尾花沢市上柳健康増進施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の設定		
議第27号	尾花沢市大石田駅尾花沢口待合所設置条例を廃止する条例の設定		
議第28号	権利の放棄		
議第29号	権利の放棄		
議第30号	権利の放棄		
議第31号	権利の放棄		
議第32号	権利の放棄		
議第33号	尾花沢市固定資産評価審査委員会委員の選任		同意 (全会一致)
議第34号	人権擁護委員の推薦		可決 (全会一致)
議第35号	令和5年度尾花沢市一般会計補正予算(第10号)		可決 (全会一致)
議第36号	尾花沢市介護保険条例の一部を改正する条例の制定		同意 (賛成8・反対5)
議第37号	尾花沢市教育長の任命		同意 (全会一致)
議第38号	尾花沢市教育委員会委員の任命		同意 (全会一致)
議案案第1号	国土強靱化対策の更なる推進を求める意見書の提出		可決 (全会一致)

議第7号 賛否討論 R6年度一般会計予算

反対

徳良湖の全面芝張り工事などに反対!



青野 隆一 議員

令和6年度予算は、前年度対比12・8%増の143億7000万円と過去最大の予算編成となりました。まず歳入ですが、自主財源となる市税や国庫補助金が減少する中、ふるさと尾花沢応援寄附金を、34%増の13億4000万円としました。返礼品の多くは、スイカ、牛肉、コメなどで、天候に左右されるリスクも大きく、寄附金を確保するためには、組織体制の強化や返礼品の戦略の見直しが必要です。

また、市債(借金)については、81・6%増の17億2510万円とされています。今後の急激な人口減少を考えれば、市民一人ひとりの財政負担はますます重くなり、起債の全額を借入できないリスクも考えなければなりません。一般財源を確保するためには、行政評価などをしっかりと行って、現在の事務事業の見直しを最優先すべきです。次に、歳出の徳良湖周辺施設整備事業費ですが、昨年度から3年間で、1億3400万円をかけて2・5haを全面芝張りにするとしています。市民の皆さまからも、必要性、有効性、効率性の視点から事業を見直すべきと声が大きく、もつと市民生活に密着した、緊急性のある事業を優先すべきと考えます。

また、学校建設費に6億8790万円を計上しましたが、放課後児童クラブやラーニング commons など基本設計の変更を求める声が多く出されています。建設工事ありきではなく、市民との合意形成を最優先されるよう強く要望します。予算は、市長や私たち市議会議員のものではなく、その恩恵を受け、またその負担を負う市民一人ひとりのものです。私は、市政研究会を代表し、今後の財政計画の公表を求め、令和6年度一般会計予算に反対します。

賛成

当局の知恵と工夫の予算に賛成



菅藤 昌己 議員

議第7号令和6年度尾花沢市一般会計予算に賛成の立場で討論をいたします。予算に反対するのであれば、緊急動議をかけて、予算の修正、組み換え、付帯決議をすべきである。予算は、過去最大の規模だが、予算編成するにあたり、一般財源の支出額を前年度比ゼロベースに編成努力を行っており、当局の職員の智慧と工夫の中でつみあげたものです。歳出の主な増加要因は、統合小学校建設、消防の通信指令センター共同運用負担金、村山北部地区国営施設機能保全事業負担金の投資的経費計10億5700万円です。歳入の地方債ですが、9つの地方債で合計17億2500万円を借入します。実負担額として、3割の5億6900万円となり、一般財源の負担軽減、有利な地方債を使用するなど限りある財源を有効に利用する努力をしております。財政の指標となる実質公債比率ですが、令和4年度決算ベースで8・1%。起債許可団体になる18%からは大きな開きがあり、これからの大型事業を踏まえた、令和9年、10年が13・3%がピークとなり、以降穏やかに下がっていく予想です。将来負担比率も、令和4年が44・7%、一番高くなる年度が、令和11年がピークで144・2%、それ以降は下がり、早期健全化基準とされる350%からは大きな開きがあります。基金の推移は、減債基金、公共施設等整備基金、財政調整基金、ふるさと納税応援基金等がありますが、基金の額として、令和5年度が38億7000万円あり10年後の令和15年で15億3700万円の残額となります。これからも、基金などを活用しながら、財政の硬直化を防いで予算編成ができる試算されるため、予算に賛成であります。

採決は 8対5! 賛成多数

よって議第7号R6年度一般会計予算は原案通り可決しました。

賛否状況 ・ 議第7号 令和6年度尾花沢市一般会計予算(賛成:8 反対:5)

青野隆一	伊藤 浩	鈴木由美子	土屋範晃	鈴木 清	菅藤昌己	畑中和恵	高橋隆雄	安井一義	菅野喜昭	和田 哲	星川 薫	大類好彦	菅野修一
×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

市民の希望となる予算か？ 総括質疑



带状疱疹予防接種費用助成事業

(安井一義)

Q 事業内容となぜワクチンが2種類あるのか

A 近年罹患率が上昇している带状疱疹の罹患率の減少及び後遺症の予防のため希望者に費用の2分の1助成を行うもの。また以前よりある生ワクチンと近年承認された不活化ワクチンの効果も高いが金額も任意接種のため高額となる。65歳以上は近隣を参考とし決定した。

旧常盤小学校解体事業

(伊藤 浩)

Q 体育館を残して将来的に雪室に改造し、尾花沢市の農産物を貯蔵して付加価値を高め、有利な販売が出来るようにJ Aと協議を進めてはどうか。

A 自然の雪を利用して雪室を作り、農産物を有利に販売する事は有効な手段と考える。希望する団体などがあれば、市も一緒になって協議したいと考える。

じもと就職応援スタートアップ激励金

(土屋範晃)

Q 企業の人材確保を後押しするために、事業継承や卒業後の年数等の見直しの他、納税要件や外国人などの要件についても緩和や拡大の検討はされたか。

A そのような、ご相談があれば応じたい。具体的にどのようなお話かお聞きして、対応を考えたい。

保育料無償化事業

(畑中和恵)

Q 事業内容は。

A 完全無償化により働きながら子育てをする世帯に対し収入や子供の年齢に関わらない経済支援を行うもの。

Q 完全無償化の実現は保護者からも喜ばれているが、自宅で保育



旧常盤小学校

消防庁舎整備事業

(菅藤昌己)

Q 女性消防職員が採用される。この事業はどこをどのように整備するのか。

A 女性職員採用により、国の整備基準に基づき仮眠室、浴室、洗面所など女性2人用に環境を整備する予定である。



初の女性職員採用

結婚・出産・子育て支援

(菅野喜昭)

Q 結婚・出産祝い金支援事業627万5千円(市民税務課)と出産・子育て応援交付金事業601万1千円(健康増進課)の申請手続きは、それぞれ別々の窓口で行うのか。また、片方の窓口により、手続きが連動するような形にならないのか。

A 趣旨と申請時期が異なるため別々としている。可能なものについては、市民の利便性を考えワンストップ窓口としている。

荒楯隴気線整備事業

(星川 薫)

Q 荒楯隴気線は尾花沢南口の重要な道路であると考えている。学校建設場所も決定し、バス通学においても非常に重要な路線で今後の様に市として整備していくつもりなのかお聞きしたい。

A 今後、荒楯線については、統合小学校が開校した際には、全地区からのスクールバスが集まる。保護者の送迎など大幅な交通量の

新規就農者確保対策事業

(青野隆一)

Q 来年度からスイカ農学校や就農PRサイトを新設するなど、日本一ともいえる制度だ。これまで新規就農者はどの位いるのか。

A この5年間で市外から19名、2年間で市内で6名、親元就農が12名の37名の方が新規に就農した。今後、ネットワークづくりに努めたい。

シルバー人材センター

(大類好彦)

Q シルバー人材センターについて、少雪などで就業が少なく運営が厳しいと聞いている。現在事務所の家賃は月10万円、年120万円を支払っている。何とか施設などに入れて運営の負担軽減をしてもらえないか。

ふるさと応援基金事業

(高橋隆雄)

Q ふるさと尾花沢応援基金事業において、寄附額を増やすためにどうPRしていくのか。

A 市長によるトップセールスをはじめ、関係団体と連携し各種イベントでのPR、またリピーター確保のためにダイレクトメール等積極的な発信を行うとともに、市場のニーズに合った新たな返礼品も考えていきたい。

移動市役所導入事業

(鈴木由美子)

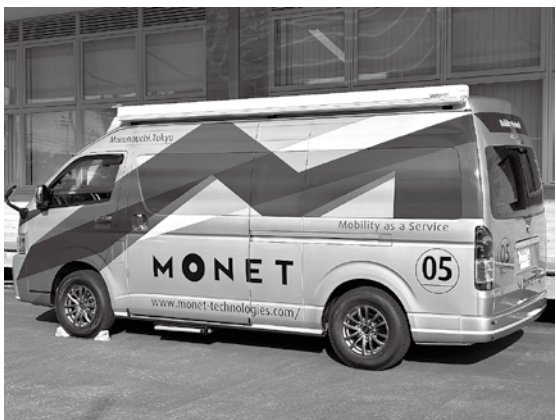


Q 証明書取得など、デジタル技術に不慣れであり、移動手段がない市民が対象となるため、自宅まで出向いては。今回も各公民館までか。また公民館の証明書発行業務があるが現行のままか。令和5年度発行実績は何件か。

A できるだけ近くに出向く。2月末現在4地区で年間40件の実績であるが、業務は継続する。

商業店舗活性化補助金

(和田 哲)



移動市役所車両

Q 現行の交付要綱は、夜間のみ営業する店舗や独立した空き店舗であることが定義および条件付けされている。新型コロナウイルス感染症が落ち着いた今後は、まちの賑いを創出するためにも、夜間営業のみを行う居酒屋の開業や建物の一部を活用した出店などが可能となるよう、これらの要件を緩和してはどうか。

A 店舗が増えて、街中が活性化されることにつながるよう、市民

議長と委員長は質疑できません。

議長 菅野 修一
委員長 鈴木 清



こちら動画がご覧になれます

予算特別委員会は予算案を慎重に審査するため、3月12日から14日の3日間にかけて、各常任委員会を母体とする2つの分科会を設置しました。それぞれの分科会では終始活発な質疑応答や要望等の意見が出されましたが、その審査結果について要約した主なものをお伝えします。

第1分科会

総務文教常任委員会



ピカピカの尾花沢通学線バス

歳入

市税・固定資産税

R6年度は、個人市民税についての定額減税を受ける方や、固定資産税においてはR6年度の評価替えの年であり、宅地の価格が下落し、住宅の新增築件数が少なかったことなどから減額を見込む。

入湯税

銀山温泉の観光客や市内の日帰り温泉施設の利用者数が、コロナ前の水準に回復していることから増額を見込む。

歳出

大石田通学線

市役所と大石田駅を結ぶ大石田通学線は、利用者のニーズにあわせ17時台のバスが1本増便される。

統合小学校の造成工事

着工は6月頃、竣工は降雪前の11月頃を目途にしているが、レイアウトの変更など市民の意見に柔軟に対応されるよう要望。

地域おこし協力隊

今後は協力隊員がお互いに支えあえるよう、同一活動へ複数名を任用し、地域の方との交流の場を増やされるよう要望。

第2分科会

産業厚生常任委員会

環境衛生活動への取り組み

花笠まつり後の清掃ボランティアと秋のクリーン作戦は時期が重なっているため、開催時期の見直しを要望。

農林業振興

市ホームページ内で就農に特化したサイト開設は、すいか農学校を全国にPRするためにも、SNSも活用し広く情報発信されるよう要望。



4年振りの本格開催となった花笠まつり

観光振興

R5年度はコロナウイルス感染症による観光客数も回復基調にあった実績を踏まえ、R6年度はパレードの音響や照明を整備されるよう要望。

道路の新設改良

発注時期や施工期間は、市内の建設業界における高齢化や人材不足等の課題を懸念し、余裕を持ち特定期間に集中しないよう要望。

中央診療所施設勘定(特別会計)

持続可能な診療体制の維持のため、医師および看護師等の確保と経営の適正化に努められるよう要望。



小児科医決定(中央診療所)

鈴木由美子	<ol style="list-style-type: none"> 1) 尾花沢市観光物産協会 ② 産業振興への取り組み 3) 花笠高原スキー場 	星川薫	<ol style="list-style-type: none"> 1) 尾花沢市中央診療所の将来ビジョン 2) ゼロカーボンシティに向けた来年度の取り組み ③ 地域活性化起業人の継続
青野隆一	<ol style="list-style-type: none"> 1) 急激な人口減少への対応策 2) 尾花沢市公共施設等総合管理計画 ③ 尾花沢市小中学校建設基本構想・小学校建設基本計画 	菅藤昌己	<ol style="list-style-type: none"> ① 介護保険 2) 悠美館(学習情報センター) 3) 地籍調査の実施状況と今後の見通し
伊藤浩	<ol style="list-style-type: none"> ① 新年度の予算 2) 地域防災計画の在り方 3) 御所山林道の整備 	土屋範晃	<ol style="list-style-type: none"> ① 市内産業の現状認識と新年度の重点振興策 2) 福原工業団地における除排雪対策 3) 職員提案制度の実施状況と次年度以降の展望
高橋隆雄	<ol style="list-style-type: none"> 1) 市の防災計画再点検 ② 観光客等に対する環境整備 3) 学校建設 4) 北村山公立病院建設 	鈴木清	<ol style="list-style-type: none"> ① 統合小学校基本設計 2) おもたか奨学金の学力要件 3) 文化・芸術・イベント事業
菅野喜昭	<ol style="list-style-type: none"> 1) 徳良湖周辺の整備 ② 「ふるさと振興公社」の経営改善計画の概要 		

○囲み数字は本文に掲載



鈴木由美子 議員



農業・商業・工業
があって
街が成り立つ！

問 少雪による商工業への経済的影響の把握と対策は

答 影響は限定的で給付金での支援の必要性は薄い

問 自主財源の減少、市債大幅増を見込んだ予算が提示された。企業振興アドバイザー事業の実施状況を踏まえ、市内事業所が抱える、経済的落ち込みや従業員不足、外国人労働者受け入れなどの問題解決にどのように取り組み、市内経済を活性化させていくのか。

答 企業対策専門員が企業訪問で得た、企業の動向を毎月報告を受け、行政内部や企業間で共有を図りながら、政策や地域活性化に結びつけている。

問 従業員不足の原因を、少子化問題と北村山高校の生徒の減少と捉えているのであれば「少年少女発明クラブ」を北村山高校の一部を借りて開催し、高校生のAI部と連携するなど、送迎付き添いの



尾花沢・大石田少年少女発明クラブ

問 福原中の地方債残高(借金)はどの位か？

答 今年度末で1億3100万円と見込んでいる

問 学校建設、新ごみ焼却場、公立病院などの大型事業が同時進行する。市民に対し、財政計画を公表すべきではないか。

答 最新の決算状況等を反映させながら、より精度の高い財政計画を公表できるよう努めたい。

問 統合小学校の学級数は、人口減少でどう変わるのか。

答 令和9年度の開校時は17クラスでスタートするが、5年後の令和14年度には12クラスになると見込んでいる。

問 空き教室はどのように活用するののか。

答 各学年で使える学級に活用したい。さらに15年後には各学年1クラスになる想定もあるが、その時は中学校建設と一緒に考えてい



青野隆一 議員



市民との
合意形成が
最優先だ！



福原中の運動会の様子



伊藤浩 議員



雪深い尾花沢の春
黄色一面の菜の花は
きれいだらうなあ

問 徳良湖畔の緑化整備は市民の意見を聞いたのか

答 方向性は大きく変わらないので、市報で知らせる

問 3年計画の全体工事が費用が発生する広場整備(芝張事業)は市民の意見を聞くプロセスはあったのか。維持管理費の見積りも甘いのではないかなど、反対意見も多く聞かれる。菜の花畑やそば畑など尾花沢にふさわしい作物を植栽するなどの活用を含め、市民の意見を聞きながら事業内容を見直すべきである。

答 当初の徳良湖整備マスタープランにおいて、ワークシヨップの意見等を反映し、緑地公園と計画していた。今回の緑地整備は方向性を大きく変えるものではないために、市民へは市報を通じて知らせる。整備後の維持管理費については、グラウンド・ゴルフ場の芝の管理を参考に積算している。芝の生



徳良湖芝張予定地

問 インバウンドへの環境整備は

答 多言語表記は不足と認識している

問 インバウンドに対応すべく案内看板等の外国語表記を整備すべきではないか。また、観光案内にも力を入れ、市内観光促進にさらに取り組むべきではないか。

答 多言語表記での案内看板等は優先順位を決め取り組んでいく。また、ICTツールを活用し言語の交換や、動画や音声で情報提供していく。さらにJR東日本、大石田駅と連携しながらインバウンド対策に取り組んでいく。

問 路線バス等のキャッシュレス決済を検討すべきではないか。

答 民間事業者とも検討し、官民連携を図りながら取り組んでいく。

問 観光客の災害発生時における避難誘導対策はできているか。



高橋隆雄 議員



観光客の
受入体制
大事だなあ



外国語パンフレット



高橋隆雄 議員

『ふるさと振興公社』経営改善計画

問題解決など指導していく

経営改善計画について、ふるさと振興公社からの説明は

株主総会の際、詳細にわた

り説明を受けていると認識

している。経営改善計画の概要につ

いて、具体的には

①令和2年から行ってきた『経営改

革』をさらに強力に進めること

②原材料やエネルギーコスト高騰に

よる赤字、長年にわたる赤字体

質、この2つの経営赤字の克服

アップ対策

③社員の意識改革とモチベーション

アップ対策

④社内ガバナンスとマネジメント

機能の強化

これを基に、改善策や目標額を設定

し経営改善に取り組んでいくこと

その説明を受けて、市として

どのような指導を行ったか。



菅野 喜昭 議員



黒字を増やし、赤字を減らす経営改善 頑張れ



菅藤 昌己 議員



「尾花沢市に生きてよかった」といっていただけるように



認知症高齢者徘徊対策について

徘徊対策をGPS端末含め検討していく

第9期介護計画が始まるが、

介護認定審査会をオンライン

開催とタブレットなどを活用して

ペーパーレス化を図ってはいかがか

また、認知症徘徊対策をどのように

実施しているか。GPSを活用した

位置情報端末を活用してはいかがか

予防事業の拡大と充実を図っていた

だきたい。

国は、GPS端末の貸出等を含め認知症を抱える家族が安心して生活が営めるよう検討する。好評の介護予防事業『足腰らくらく運動』クラブなど多くの方が参加できるように定員を増やしていく。

答

国の通知により対面以外での認定審査会の実施が可能である。印刷コストを削減し業務効率化をはかるため、近隣自治体の状況を踏まえ検討していく。また、認知症徘徊対策として方が一方不明になったとき早期発見、保護できるように、徘徊高齢者等支援事業をおこなっているが、登録者は41名となっており情報に関係機関で共有し



星川 薫 議員



国の支援を有効に使わないと



地域活性化起業人の継続は

積極的に活用していくべき制度である

観光支援員として3年間従事

してきたが、その内容や実績は

台湾やタイに向けオンライン

ントリップやプロモーション、

ダイレクトセールスを行い、旅

行会社数社と商談会をしながら、

本市のPRに努めた。成果としては、

台湾からの来客が多く銀山や徳良湖

スノーランドが賑わいを見せている

ことやJALふるさとアンバサダー

と市内の和菓子店との共同で開発し

た「紅粕練」BENKANURE」がある。

継続や新たな分野での活用

はどう考えているか。

活用分野を限定せずに幅広い

分野で人材を募集するとい

ういった点も視野に入れながら国

制度などの情報収集に努める。

市内の各産業界についてど

のような認識であるか。また、

令和6年度における重点振興策にど

のようなものを考えているか。

県内では特に、建設、製造、

卸売、サービスの4業種の



共同開発した紅粕練

地域活性化起業人制度

特別交付税措置

- 派遣元企業に対する負担金など起業人の受入に要する経費 上限額 年間560万円/人
- 起業人が発案・提案した事業に要する経費 上限額 年間100万円 (措置率0.5) /人
- 起業人の受入準備経費 上限額 年間100万円 (措置率0.5) /団体 (派遣元企業に対する募集・PR、協定締結のために必要となる経費)

期間 6ヵ月～3年

新年度の産業振興について

経済の下支えと伴走支援に尽力

重点振興策として、「プレミアム商

品券発行事業」や「家計応援こっ

お券発行事業」を計上しており、経

済の下支えを行いながら、引き続き

情報収集と企業の伴走支援に尽力し

ていく。

景気悪化が顕著であり、今後本市経

済への影響も心配される。どの業種

においても慢性的な人材不足が喫緊

の課題となっており、これを打開す

るためにDX/IoTによる省力化、外



雪押場や雨水対策が必要な工業団地



土屋 範晃 議員



所得向上や定住対策のためにも産業振興を！



広域組合議会の報告

R6年度 3市1町の負担金

市町名	負担金(万円)	比率
東根市	3,373	39.9%
村山市	2,567	30.4%
尾花沢市	1,561	18.5%
大石田町	946	11.2%
合計	8,447	100%

3月25日に、村山市議場での定例会において令和6年度一般会計予算と関係市町村負担金の2案件を原案通り可決した。また追加提案された尾花沢市の教育委員人事案において前任者の辞任に伴い村松真氏(66)を同組合の教育委員会の委員に新任することに同意した。

一般会計予算9330万円で北村山視聴覚教育センターの冷暖房の更新などを行う。

北村山広域行政事務組合議会

R6年度 3市1町の負担金

市町名	負担金(万円)	普通交付税充当後の実質負担額(万円)
東根市	59,970	44,831
村山市	33,175	24,800
尾花沢市	15,977	11,949
大石田町	7,193	5,378
合計	116,315	86,958

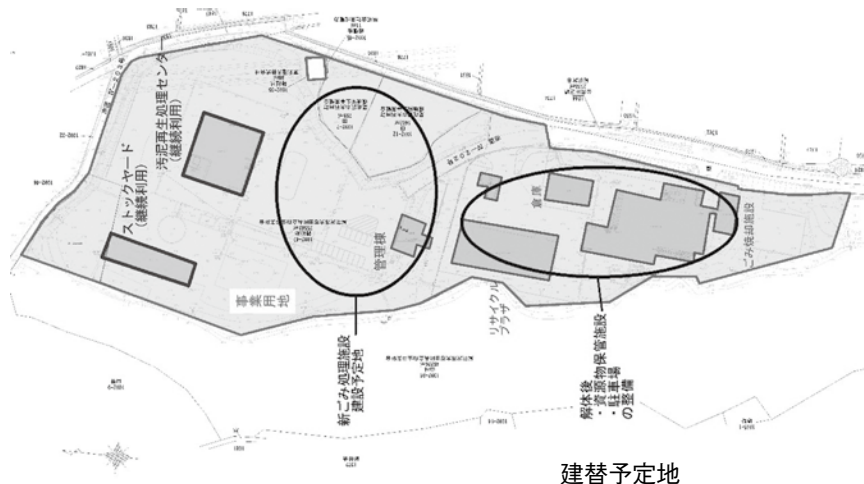
1 北村山公立病院組合議会は、第1回定例会を3月26日に、東根市議場で開催し、令和6年度北村山公立病院組合事業会計予算、3市1町の負担金額など

5 議案を原案通り可決した。病院事業の設置等に関する条例の改正で、地域住民に対し診療内容の専門性を明確にするため、新たに肛門外科を設置することになった。

2 概要

(1) 令和6年度予算
病院事業収益52億423万円、
同費用58億7505万円の赤字予算。

北村山公立病院組合議会



建替予定地

3月22日定例会を開催し、令和5年度水道会計補正予算の専決処分承認のほか、令和6年度一般会計予算、令和5年度補正予算並びに、水道事業会計の資本剰余金の処分とゴミ袋使用料及び証紙条例の一部を改正する条例の制定についての13議案を可決した。

尾花沢市大石田町 環境衛生事業組合議会

問 2月23日の説明会で多くの市民が参加し、期待と不安の質問があった。以下お尋ねしたい。

①定番の桜並木と相撲場の計画はあるか。

②ピオトープとはどのようなものか。

③図書室が、ラーニングコモンズとなっているが、学校司書の配置、悠美館との連携は。

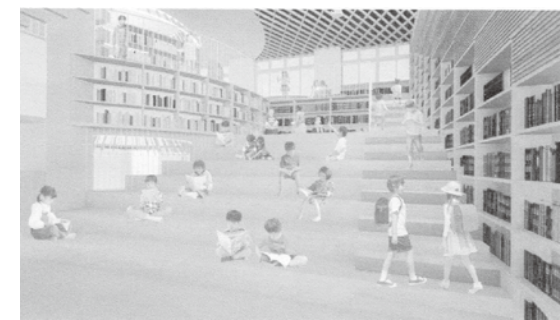
④放課後児童クラブのお迎えは。

⑤交流棟は市民が利用できるか。

答 ①樹木の剪定は検討し、相撲場は市民のニーズがないため計画しない。

②目的は、自然や環境への理解・いこいの場・生命の尊さを学ぶこと。

③読書力向上推進委員を配置する。授業で活用する本の団体貸し出し



ラーニングコモンズの大階段

④保護者にお迎えに来ていただくことを想定している。

⑤交流棟の地域開放は、学校による管理を想定。ルール作りが必要のため、どのような活用方法が良いか研究したい。

問 図書室の大階段はどの使っのか

答 2・3階をつなぎ、学習発表を行うなど連携する。



鈴木 清 議員



「画くときも 散る時も 母校の桜」
(基本設計に市民の声を！)



傍聴に来た方の感想

傍聴者が多くおり、関心の高さが見てとれた。

初めての議会傍聴で期待していたが、質問と答弁がうまくかみ合っていない気がする。

3月の定例会では延べ48人の方が傍聴に来ていただきました。次回の定例会は6月に開催の予定です。ぜひ傍聴にいらしてください。



表彰

尾花沢市表彰規則に基づき表彰されました。

◎議員12年表彰
大類 好彦 議員
青野 隆一 議員
塩原未知子 前議員

◎議員8年表彰
伊藤 浩 議員
鈴木 清 議員

市民懇談会や説明会などは、本来議員さんが積極的に開催、実施すべきものと思います。

傍聴者にも行政用語を解説した資料や同じタブレットを準備して、即時横断的な情報共有を図ってほしい。